

福祉サービス第三者評価項目（障害福祉サービス）の評価結果				評価結果
大項目	中項目	小項目	項目	
障害者・児施設	1 利用者の尊重	(1) 利用者の尊重	1 コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	A
			2 利用者の主体的な活動を尊重している。	A
			3 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	A
			4 利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。	B
	2 日常生活支援	(1) 食事	5 サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	A
			6 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	A
			7 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	A
		(2) 入浴	8 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	A
			9 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	A
			10 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	A
		(3) 排泄	11 排泄介助は快適に行われている。	A
			12 トイレは清潔で快適である。	B
		(4) 衣服	13 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	A
			14 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	A
		(5) 理容・美容	15 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	A
			16 理髪店や美容院の利用について配慮している。	A
		(6) 睡眠	17 安眠できるように配慮している。	A
		(7) 健康管理	18 日常の健康管理は適切である。	A
			19 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	A
			20 内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	A
		(8) 余暇・レクリエーション	21 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	A
		(9) 外出・外泊	22 外出・外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	A
		(10) 所持金・預り金の管理等	23 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	A
			24 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	A
	25 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。		A	

評価調査票(障害福祉サービス用)

事業者名 佐原聖家族園

(種別: 知的障害者更生施設)

評価基準	項目 番号	自己評価		評点	コメント
障害福祉サービス					
- 1 利用者の尊重					
- 1 - (1) 利用者の尊重					
- 1 - (1) - コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	1	①		A	身ぶり・手ぶり・表情などを職員が汲み取るようにしている。個々の対応については個別支援計画書に具体的な手段が記載されている。
		b	個別にあわせた声かけ、サイン等を用いて状況に合わせた支援を行っている。		
		c			
- 1 - (1) - 利用者の主体的な活動を尊重している。	2	①		A	隔週で行われるクラブ活動は、その日の内容から好きなものを選択できる。訪問調査時はドライブ・運動・音楽の3グループに分かれた。雨天のためホールで行われた運動は、トランポリン・卓球・キャッチボール・バランスボールなど何種類かに参加し、見学者も玉拾いに巻き込み、生き生きした表情が見られた。
		b	毎月自治会を開催している。 小舎活動・行事等は利用者主体の活動を行っている。		
		c			
- 1 - (2) - 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	3	①		A	職員は利用者一人ひとりのできること・できないことをしっかり把握している。食事・入浴・排泄・作業等で必要に応じて見守ったり支援している。
		b	生活面全般で見守りと支援の体制が整備されている。 食事形態、摂取方法等自力で行えるように工夫している。		
		c			
- 1 - (2) - 利用者のエンパワメント(力をつけること)の理念にもとづくプログラムがある。	4	①		B	できることを増やしたり継続することが利用者のエンパワメントになると考え支援している。更に、地域での生活を希望する利用者の自立訓練に力を注いでおり、時間をかけ園をあげて応援する体制をとっているがプログラムとして整備されていない。今後、段階を追ったプログラムが整備されると、利用者の達成感が職員に伝わりやすくなると思われる。
		b	特別な訓練プログラムは作成していないが、個別支援計画の中にできることを記入している。 利用者の希望に応じて、自活訓練事業等の取り組みを行っている。		
		c			
- 2 日常生活支援					
- 2 - (1) 食事					
- 2 - (1) - サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	5	①		A	利用者の体格や健康状態によって異なる摂取カロリーや調理法を検討し、個々に応じている。食事ごとの摂取量は職員が確認し記録している。
		b	支援員会議等にて、個別の食事形態について検討している。 月に1度会議にて厨房と支援員との間で連絡調整を行っている。		
		c			

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 - (1) - 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	6	① b c 定期的に嗜好調査を行い献立に反映している。 月に1～2度選択食を行っている。	A	農耕園芸班やしいたけ班の作った野菜も使い、厨房で作っている。年に数回嗜好調査を行っているが、普段から感想を気楽に言える雰囲気があり、リクエストカードに記入したり、検食担当職員が検食簿に記入すると栄養士に伝わりその後の献立に反映される。
- 2 - (1) - 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	7	① b c 食事時間を1時間30分～2時間程度設け、好きな時間に食べられるよう配慮している。	A	明るく広い食堂で、準備のできた人から自分のペースで食べている。特に席を決めてはいない。せかされることはなく、職員も利用者の間に入り、会話しながら食事している。
- 2 - (2) 入浴				
- 2 - (2) - 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	8	① b c 浴室に身体状況のチェック表を置き、記入している。 個別の介助方法等配慮している。	A	男子棟・女子棟ごとに複数が入れる大浴室と個室があり、利用者の希望を聞いている。浴室には入浴チェック表が備え付けてあり、入浴状況を把握し記入している。大浴室では職員が介助や見守りを行い、一人ひとりの状況に応じた支援を行っている。
- 2 - (2) - 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	9	① b c 入浴は毎日行っている。 車椅子の方には早く入って頂いたり、一人で入浴出来る方以外は全員夕方の時間に入っている。	A	毎日入浴することができる。時間でせかすことなく、利用者同士や職員と会話しながら入浴している。
- 2 - (2) - 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	10	a ② c 脱衣所は冷暖房完備で、利用者似合わせ椅子などを設置している。 毎日掃除も行っているが、カビや汚れが残っている所がある。	A	浴室や脱衣場の温度管理や換気にも気を配っている。湯の温度は職員が浴槽に足を入れ、機械による温度管理だけに頼らない安全確認を行っている。
- 2 - (3) 排泄				
- 2 - (3) - 排泄介助は快適に行われている。	11	① b c 利用者の状態に合わせ、チェックリストを作成し、健康状態の把握に努めている。	A	バルーンカテーテル装着の利用者は看護師が管理しており、他の利用者は職員が必要に応じて声かけ・見守り・介助をしている。

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 - (3) - トイレは清潔で快適である。	12	a ② c	B	利用者と職員が毎朝小舎内のトイレ清掃を行っており、更に水曜日の小舎活動でもトイレの清潔度アップに取り組んだため、その効果が表れてきた。しかし一部の小舎ではその効果が持続していないため、見回りのタイミングなど、小舎単位の更なる対応が期待される。
- 2 - (4) 衣服				
- 2 - (4) - 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	13	① b c	A	家族や職員と一緒に買い物に出かけ、気に入った服や靴・バッグなどを選んでいる。
- 2 - (4) - 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	14	① b c	A	着替えは状況に応じて支援している。女性は午後からの作業時にも着替え、普段の服と区別している人もいた。
- 2 - (5) 理容・美容				
- 2 - (5) - 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	15	① b c	A	女性は化粧やヘアピン・リボンなどを楽しんでおり、利用者の好みを尊重している様子が伺えた。
- 2 - (5) - 理髪店や美容院の利用について配慮している。	16	a ② c	A	約半数が外泊時に以前から馴染みの理髪店や美容院を利用している。残りの半数が月に1度の訪問理・美容のボランティアを利用している。
- 2 - (6) 睡眠				
- 2 - (6) - 安眠できるように配慮している。	17	① b c	A	全室が個室なので、消灯時間はあるが、自分のペースで就寝し起床している。なかなか眠れない人には職員が声をかけ、支援室で一緒に過ごしたりすることもある。

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 - (7) 健康管理				
- 2 - (7) - 日常の健康管理は適切である。	18	① b c 毎日検温を行っている。 余暇時間を利用し、爪切り、耳かき等を行っている。	A	定期健康診断や定期受診は事業計画の中に組み込まれており、受診状況も記録している。日々の体調管理は看護師との連携をとりながら行われている。
- 2 - (7) - 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	19	① b c 嘱託医が15分以内の場所にいる。 10分程の所に県立佐原病院があり、救急外来を利用できる。	A	定期的な受診は家族が付き添っている。家族が行けない場合は看護師が支援員が付き添う。体調に変化がみられた時は看護師にまず相談し、受診の必要がある場合は協力病院に受診している。
- 2 - (7) - 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	20	a ② c 取り扱い、服薬は確実に行われているが、マニュアルの整備が十分ではない。	A	看護師による管理は行われているが服薬の場面を全て確認しきれておらず、床に薬が落ちていたりすることがあった。そのため、飲み込みを確認するところまでチェックするようにしたことで、大きなトラブルは無くなった。
- 2 - (8) 余暇・レクリエーション				
- 2 - (8) - 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	21	① b c 自治会を利用し、利用者の希望に添った行事を心がけている。 余暇も出来るだけ希望にそうように支援している。	A	隔週で行われるクラブ活動が定期的なレクリエーションの場となっている。また、自由時間は小舎間を歩き来して気の合う利用者と共に過ごしたりしている。自治会の際に自分の希望が言えるが、普段から自分のしたいことを職員に話している。
- 2 - (9) 外出、外泊				
- 2 - (9) - 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	22	① b c 利用者・ご家族の希望に応じている。 外泊の相談に応じ、日程の調整を行っている。 外泊の制限は一切行っていない。	A	週末にイベントがある時は家族とも相談して利用者・家族の希望に添うよう支援している。定期的な外泊が多く、生活のリズムができて利用者が多い。
- 2 - (10) 所持金・預かり金の管理等				
- 2 - (10) - 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	23	① b c 自己管理している方には使用方法や管理の相談に応じているが、保管場所・設備は提供していない。	A	預かり金の全額を園が管理する場合と、小遣い程度を利用者が自分で管理する場合とがある。園で預かった分は事務職員が管理しており、家族に報告している。本人管理の部分は小遣い帳に記入している。

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 - (10) - 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	24	① b 利用者の希望に沿っている。 c	A	雑誌は外出や外泊の際に購入している。テレビは自室への持ち込みも自由だが、各小舎ごとにも備え付けられているので、複数人で観ていることもある。
- 2 - (10) - 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	25	① b 利用者の希望に沿っている。 c 喫煙については安全上の点から職員も含め、園内禁煙となっている。	A	少量の飲酒は楽しむ機会が作られている。喫煙は、利用者の体調と火災に配慮し禁煙としたが、職員も同様に園内禁煙とした。ドライブに出かけたときに好みのおやつや飲み物を買ったりもしている。